

兵庫県のみ漁場環境情報 (鹿ノ瀬海域 3号)

播磨灘沿岸域を中心に、大型珪藻コシノディスカスが依然として確認されており、栄養塩を多く消費するユーカンピアの増殖も見られています。この海域においても一部の調査地点でユーカンピアが少し見られましたが、漁場内の窒素は概ね $3 \mu\text{g at / L}$ の値でした。

(水温) 漁場平均 19.4°C 。平年比 0.7°C 高く、概ね昨年並み。(塩分) 平均 31.89psu 。前回 (31.80) より約 0.1psu 高い。
 (栄養塩、珪藻) コシノディスカスの発生量は、この海域全般に海水 1L あたり $50\sim 100$ 細胞で前回 (11/12) 調査と比較し減少傾向にある。今回調査が北西の風波直後であったことから、沿岸域で大量増殖しているユーカンピアがこの海域北東部やカンタマにおいても少し (海水 1ml あたり $30\sim 40$ 細胞) 確認され、地先の栄養塩が低下した海水が波及していたものと考えられる。南東部から西部域にかけてはユーカンピアは見られず、窒素は $3 \mu\text{g at / L}$ 台であった。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	20.7	19.4	18.7	19.3
窒素	3.6	3.4	5.5	6.6
リン	0.61	0.62	0.65	0.64

(11/12) (11/21)

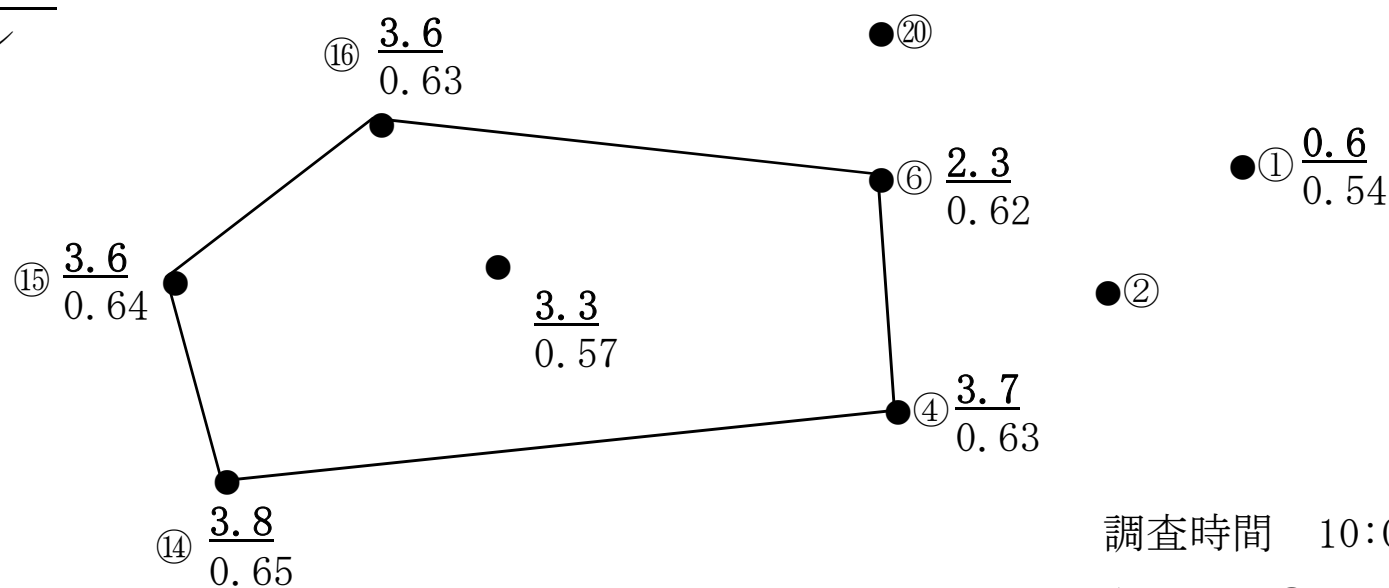
2019年11月20日調査

栄養塩図

潮：干潮

窒素

リン



調査時間 10:01~10:51

(カンタマ① 7:59 下げ潮)

水温・塩分図

水温

塩分

